

平成30年度

第12採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会 議事録

日 時 平成30年7月17日(火) 午後1時15分～午後3時10分

場 所 狭山市立教育センター AV研修室

出席者

委員 向野 康雄委員 吉川 明彦委員 今井 直己委員
小見山 実委員 中村 一夫委員 矢次 健志委員
西澤 泰男委員 河村 佳樹委員

事務局

伊藤 秀一 学校教育部参事兼教育指導課長 (以下、「参事」とする。)
伊藤 公雄 学校教育部教育指導課 指導主事
田 春昭 学校教育部教育指導課 指導主事

各市事務担当者

井上 博子 人間市教育委員会教育部学校教育課 指導主事
内野 正勝 飯能市教育委員会教育部学校教育課 指導主事
橋本 孝史 日高市教育委員会教育部学校教育課 指導主事

代表専門員

川 克巳 狭山市立山王中学校長

司会

1 開会

【司会】

(参事) 開会あいさつ

2 あいさつ

【司会】

(会長あいさつ) 向野 康雄 会長

3 日程説明

【司会】

- ・本日の日程について、事務局から説明する。

【事務局】

- ・この後、会長に議長をお務めいただき、代表専門員の報告から選定までをお願いします。
- ・初めに中学校特別の教科道德の採択を行い、次に小学校教科用図書の採択を行う
- ・協議の流れは、まず、代表専門員が調査研究結果の報告を行う。
- ・その後、代表専門員への質疑を行い、代表専門員が退出後に協議と選定を行う。ただし、協議の途中に代表専門員への質問が必要になった場合には、再入室できるよう控えている。
- ・小学校教科用図書については事務局より各教科の説明をした後に、採択委員の協議を行い、その後小学校教科用図書の採択を行うとする。

4 協議

【司会】

- ・議長を会長にお願いし、協議を進行していただきたい。

【議長】

- ・第12採択地区 教科用図書 採択協議会規約の規定により、本日の議長を務める。
- ・協議が慎重に進められ、適切な選定がなされますよう、ご協力をお願いします。
- ・本協議会の趣旨をふまえ、本協議会の選定結果を十分尊重したうえで、各教育委員会で教科用図書を採択することとなっているので、よろしく願いしたい。
- ・選定の方法については、資料3の協議会規約第11条で規定されている方法で行う。
- ・それでは、はじめに平成31年度使用 中学校用「特別の教科 道德」教科用図書について調査研究結果の報告、協議及び選定を行う。

【議長】

- ・代表専門員を入室させる。
- ・（入室後）特別の教科 道德について、報告をお願いします。
＜専門員作成による調査報告書に基づく報告＞
- ・（報告終了後）委員から質問を受ける。

【質疑】

- ・（委員）評価のことについて専門員会で話し合われたか。
- ・（代表）価値項目ごとの評価ではなく、学期、年間を通して多面的、多角的に評価しているということで確認している。

- ・（委員）地域教材については各社で扱いに差があるようだが、どのように考えるか。
- ・（代表）各社現代的な課題についての題材が多く、全体の割合も大きいとの意見があった。
- ・（委員）地域の実態に合った教材がよいと考えている。
- ・（委員）中学生は発達段階に応じて差があるが、配慮はされているのか
- ・（代表）深い学びは新学習指導要領でも出てくる。最終的には自分なりの課題を見つけて生活に生かしていくことが評価につながる場所であり、各社とも取り扱われている。
- ・（委員）数学と違い、道徳は見えるようで見えないものもあり、難しい。
- ・（委員）教科書によっては書き込みが多いものがあるがどう考えるか。
- ・（代表）各社とも発問の工夫がされている。授業でのまとめの活かし方が大切になる。
- ・（委員）アクティブラーニングといわれている中、書き込み主体の授業にならないか心配に思える。
- ・（委員）各社とも工夫されている。役割や話し合いが意図的に作られているが、議論するための議論にはならないか。
- ・（代表）以前はワークシートを教員が作り対応していたこともあった。各社とも別冊やワークシートで対応している。
- ・（委員）各社とも親切に作られているものが多いが、そこにとらわれているのではないか。
- ・（代表）若い教員にとって役に立つ部分もあるが、子供の思考を一方向にしてしまう懸念もある。教師も発問を見極めてスキルアップを図る必要がある。
- ・（委員）教科書会社は一生懸命作っていただき、ありがたいことではある。
- ・（委員）流行のスポーツなどは扱っているのか。
- ・（代表）ほとんどの会社で扱っている。自分の生活に投影できるものがある。
- ・（委員）価値観の変化の激しい時代だけに心配もある。
- ・（委員）8社を比べると国語的、漫画が多いなど様々だが、ユニバーサルデザインの件について専門員会で話題になったことはあるか
- ・（代表）ユニバーサルデザインについては各社とも使いやすく、色使いもよい作りになっている。
- ・（委員）発達段階に応じて対応している教科書について専門員から意見はあったか。
- ・（代表）情報モラルや生命尊重のところは必要などところが多い。
- ・（委員）一年ごとに子供たちの心の変化もあるので気をつけて教えていくところが必要だ。
- ・（委員）道徳の教科化には危機感を持つ。展示会のアンケートも歴史の教科書と混同しているものがある。道徳の中での歴史についてはどう考えているか。
- ・（代表）道徳の歴史の中のことは大きく触れてはいない。
- ・（委員）別冊を作っている会社があるが、意見は。

- ・（代表）教科書になるので、持ち帰ることになるが管理が徹底できるとよい。

【議長】

- ・（代表専門員退室後）続いて協議を行う。
- ・（委員）読み物資料として心情、心の葛藤がいかにか描かれているかが大切。定番や名作も大切である。また、答えが一つ出ないことも大切である。
- ・（委員）個人によって勉強の仕方に違いはあるが、工夫することも大切だと思う。先生方が若くなり、使いやすいことも大切である。
- ・（委員）課題への答えが1つではないことへの考えの善し悪しがある。バランスのとれたものがいい。
- ・（委員）ワークシートの枠をどう使うか。丁寧に作られているが、先生方の使い方が大事になる。
- ・（委員）心を開くこと、他者との関係性は各社ともよく作られている。先生がそこを押さえて教えることが大切だと考える。
- ・（委員）どの会社もよく研究されている。授業する側、受ける側、どこに力点を置くかによる。
- ・（委員）多くの人と関わりをもって生きる中、自分の意見や他者の意見をきくことなど議論を引き出す教材が大切である。
- ・（委員）指導書の中身を出しているところもあったが、答えを導き出す授業ではなく、しっかりと示していくことが大切であると考えている。

【議長】

- ・質疑及び協議の結果を踏まえ、特別の教科 道徳の教科用図書は投票によって選定するが、よいか。
- ・（一同）同意

- ・意義がないようなので、投票により採択することとする。
- ・事務局に投票用紙を配布するよう指示。
- ・投票用紙について選定欄に丸は1つだけとするよう指示。

〈投票後〉

【事務局】

- ・投票用紙回収、及び集計した結果を議長に報告

【議長】

- ・投票結果を報告。

【議長】

- ・中学校用特別の教科道徳の協議、選定は全て終了
- ・ここで休憩とする

〈休憩〉

【議長】

- ・再開する。
- ・事務局から説明をお願いする

【事務局】

- ・事務局より小学校教科用図書採択について、現行の教科用図書を採択した理由及び変更点を説明する。

・

【議長】

- ・全体を通して質問があるか。
- ・（委員）資料の中の地図で学校図書とあるが、これは帝国書院の訂正でかまわないか
- ・（事務局）誤りですので訂正を願います。
- ・（委員）社会の修正箇所が新燃岳から御嶽山に変わっているのは簡単な訂正でかまわないのか。
- ・（事務局）本文の記述が変更になる。

【議長】

- ・続いて協議を行います。
- ・（委員）平成27年度以降大きな変更がなければ同様でよろしいのではないか。
- ・（委員）前回以降、必要な情報や訂正がされているのでこのままでよろしいのではないか。
- ・（委員）現行の学習指導要領も来年までとなり、教科書も移行期間に入っている。先生方の貯めた教材等も新しく対応するとなるとまた1からとなってしまうので、他の委員と同様に現行のままでよいのではないか。
- ・（委員）私も委員の皆さんと同意見です。
- ・（委員）27年度の時点で慎重に審議されて採択をされている。
- ・（委員）同様である。精選して選ばれているのでこのままでよろしいと考える。
- ・（委員）現行のままでいいと考える。
- ・ただいまの協議の中で、現行の指導要領も来年までということで、教科書も一年間の使用、教材等も揃っているということで、私ものこのままでよろしいと同意見です。

【議長】

- ・現行のままでよろしいと全委員の意見であった。協議会規約では全員一致であれば採択するという事になっているが現行の教科用図書のままでよろしいか。
- ・（一同）同意
- ・平成31年度使用教科用図書は27年度使用教科用図書を継続して採択するということになりました。

5 閉会

【事務局】

(参事) ・ 閉会あいさつ